



第4号 令和7年12月26日発行



長崎県佐世保北中学校・高等学校

長崎県佐世保市八幡町6番31号

TEL 0956-22-4105/FAX 0956-22-5361

URL <http://www.news.ed.jp/sasebokita-h/>

「巳年から午年へ ～一歩ずつ前へ～」

事務局長 田中直文

今年も残すところ、あと一週間となりました。この一年はどのような年であったでしょうか。振り返れば、今年も例年にも増して暑い一年でした。猛暑日という言葉が当たり前のように使われる中で、登下校や部活動、日々の学習に取り組む生徒の皆さんの姿に、たくましさや成長を感じた一年でもありました。暑さの厳しさは、私たちに自然環境の変化を改めて意識させると同時に、健康管理や互いを思いやる心の大切さを教えてくれたように思います。今年にはまた、昭和百年、そして戦後八十年という節目の年でもありました。遠い過去の出来事として語られがちな戦争や復興の歴史ですが、今の平和な日常が、多くの先人の努力と犠牲の上に成り立っていることを忘れてはなりません。学び舎で学ぶという当たり前の日常が、実はとても尊いものであることを、改めて心に留めたいものです。社会に目を向けると、大阪・関西万博をはじめ、世界陸上、世界バレーといった国際的なイベント、さらには「ながさきピース文化祭2025」に代表される文化的な取り組みなど、日本や世界がつながり、交流する機会が数多くありました。これらは、単なるイベントにとどまらず、多様性を認め合い、未来を考えるきっかけを私たちに与えてくれたように思います。

干支でいうと、今年は「巳」年でした。ヘビは脱皮を繰り返し成長することから、新しい始まりや変化を意味しています。生徒の皆さんが、失敗や戸惑いを経験しながらも一歩ずつ成長していく姿は、まさに殻を破り、新しい自分へと生まれ変わろうとする姿そのものでした。脱皮は一瞬で終わるものではありません。痛みや不安を伴いながら、時間をかけて少しずつ進んでいくものです。今年の経験は、必ず次の成長につながっていくものと思います。そして、来年は「午」年となります。馬は古くから、人と共に歩み、力強く前へ進む存在として親しまれてきました。馬が出てくる故事成語に「人間万事塞翁が馬」という言葉があります。良いことが悪いことに、悪いことが良いことに転じるかは、すぐには分かりません。思い通りにいかない出来事に会ったときこそ、それをどう受け止め、どう次につなげるかが問われます。努力や工夫を積み重ねることが、やがて実りとなって返ってくるのではないのでしょうか。馬に関連して、最近放映されていたドラマの中で、馬と人、人と人との深い信頼関係が描かれていたものがありました。相手を信じ、誠実に向き合い、一生懸命に力を尽くす姿は、見る者の心を打ち、そして、その姿勢や想いは、次の世代へと受け継がれていくものでした。人を信じることは、時に勇気がいります。しかし、誰かを信じ、また誰かに信じられることで、人は本来持っている力を発揮することができるのではないのでしょうか。馬が人の想いを背負って走るように、生徒の皆さん一人ひとりも、周囲の支えや期待を力に変えながら、それぞれの道を進んでほしいと願っています。

将棋の「歩(ふ)」は、前に1マスだけ進むことができます。前に進み相手に陣地に入ることに成功すると駒を返して「と金(ときん)」となり、「金将」と同じ六方向の動きができるようになります。歩兵である「歩」が、最後まで進むことで金将に生まれ変わる。一歩一歩は小さくとも、ひたむきに前へ進み続けることで、大きな役割を果たす存在になれるという教えが、そこには込められているように思います。

年を重ねていくと、人生にはゴールはないとつくづく思います。目標を達成しゴールだと思った瞬間が、次のスタートなのです。受験や進級、卒業といった節目も、終わりではなく、新たな始まりです。この一年の終わりに立っている今も、すでに次の一歩は始まっています。どうか生徒の皆さんには、自分の歩幅で前に進むことを大切にしてほしいと思います。そして保護者の皆さまには、これまでと変わらぬ温かいご支援をお願い申し上げます。来る年が、皆さまにとって実り多き一年となりますよう、心より祈念いたします。

高校

マラソン大会

体育科 坂井 滉

11月12日(水)、相浦総合陸上競技場で校内マラソン大会が行われました。今年度は「マラソン大会をより盛り上げるものにしたい」という生徒の希望もあり、応援がしやすいように陸上競技場敷地内のランニングコースを使って実施しました。

男子8キロ、女子5キロのコースを完走するため、生徒たちは体育の授業の中で20分～30分のランニングに取り組んできました。当日も真剣に自分自身と向き合って走る姿が見られ、成長を感じられました。終了後には、「持久走がはじめはすごく嫌だったけど、少し走るのが好きになった。」「きついことでも一生懸命取り組むことが大切だと思った。」といった感想を耳にしました。このマラソン大会を契機に、さまざまな場面で粘り強く取り組める佐北生になってほしいと思います。

また、活動サポート本部の方々には、たくさんの応援や給水所やゴール後のドリンク配付のサポートをいただきました。本当にありがとうございました。

順位	クラス	氏名	順位	クラス	氏名
1	2-3	富永 勲	1	1-6	杉谷 流風
2	2-4	笹岡 真光	2	1-2	片山 実優
3	1-4	中村 紳太郎	3	1-1	山本 留衣
4	2-2	本村 悠悟	4	2-4	小田 夢香
5	2-6	前田 直樹	5	2-5	山下 由依乃
6	1-6	梅澤 悠太	6	2-5	田淵 凜
7	1-2	牧野 夏己	7	1-2	南 絢花
8	2-1	杉竹 孝太	8	1-1	大石 京朋
9	2-6	渡會 修平	9	2-1	大久保 美穂
10	2-2	吉永 結翔	10	2-1	乾 美咲

クラスの部	1位	2位	3位
クラス	2年1組	2年3組	2年2組



中学

北辰行

中学校生徒指導主事 大山 俊亮

11月28日(金)に第22回北辰行が実施されました。

今年度は、西海町の「西海橋公園」でした。昨年の冷水岳コースのような上り下りはありませんが、24.5kmという長い道のりを歩きました。

当日の天候は晴れ。しかし、強風と極端に下がった気温の中、皆さんが無事に完歩できるか心配ではありましたが、力強く一歩ずつ前進し、ゴールを目指す勇ましい姿に、体力だけではなく、精神的な面での大きな成長を感じることができました。道中は1年生から3年生の縦割りグループで歩いていきましたが、先輩が後輩を支える優しい声掛けや、歩調を合わせ後輩の背中を押す姿勢など、温かい優しさもたくさん見られました。

当日を迎えるにあたり、コースの下見や計画・運営にご尽力いただいたPTA役員の皆様、当日の交通指導でご協力いただいた保護者の皆様、また、温かいお声掛けと補食を支給頂いた活動サポート本部の皆様、職員一同心より感謝を申し上げます。おかげさまで今年度の北辰行を無事に終え、お子さま心身の成長へとつなげる行事となりました。

来年度は小佐々町の神崎鼻コースとなります。何卒ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



中学

佐北トライやる

中学校2学年主任 山田 美樹子

10月22日～24日の3日間、佐世保市内、近郊において、佐北トライやる（職場体験学習）を実施しました。45の事業所にご協力いただき、生徒たちにとって心に残る深い学びの機会となりました。3日間の活動の中で、「働くとは？」ということを手づから問い、体験の中で感じ入る様子が表情や感想の中に見て取ることができました。

働くことについての今の考え ～生徒の感想より～

- ・思っていた以上に大変。
- ・「働くこと」において挨拶や周囲との関係性を深めることが重要だと思った。
- ・誰かのことを考えて行動すること。
- ・自分のためだけにすることではなく、人の気持ちを考えながらすること。
- ・大変なこともたくさんあるが、やりがいも同じくある。
- ・自分たちのためではなく、周りの人にも貢献すること。
- ・とても大変だしきついけど、人のために働けることがわかった。

この学習の中で、仕事を通じて様々な人と出会い、その人達とつながるからこそ得られた喜びや達成感、やりがいを感じる事ができたようでした。

学年目標である「chemistry創造する2/3」には、つながるからこそ生まれる化学反応、chemistryを楽しみ、大切にしたいという思いを込めています。この3日間で「人とのつながり」を感じ、関わってくださった方々への感謝の気持ちや、誰かのために働くことの尊さに気づくことができたことは、貴重な学びとなりました。今後も人との関わりを通して、自身の学びを深め、互いに高め合い、新たなものを創造していく学年集団に成長していくことを願います。改めてお世話になった事業所の方々に感謝申し上げます。



中学

笑顔いっぱいの修学旅行

中学校3学年主任 沖田 佑介

10月22日（水）から24日（金）まで、2泊3日で大阪と京都に修学旅行に行ってきました。

1日目はバスと新幹線に乗り、大阪のユニバーサル・スタジオ・ジャパンに行きました。バスの車内ではクラスで募った音楽を聴いたり歌ったり、新幹線では友人とトランプをしたり、談笑したりしていました。USJでは、ミニオンやスヌーピーの被り物を満足気に身に付け、ジェットコースターに乗ったり、買い物をしたり、みんな笑顔で本当に楽しそうでした。



2日目は京都に移動し、午前は京都大学を訪問しました。大学ではフェアトレードの講義を受けました。生徒はタンザニアで作られるコーヒー豆の話をもとに、フェアトレード(公正な取引)の重要性を熱心に学んでいました。講義後は、学生に案内されながら、キャンパス内を見学しました。午後はタクシーで京都市内を散策しました。清水寺や金閣寺など多くの歴史的な名所を見て回り、日本文化の深みを感じたようでした。夕方には京都駅近くの旅館「銀閣」に到着し、夕食後は本校の卒業生である3人の先輩方から、いろんな話をしてもらいました。日々の学習や読書の大切さ、自分の好きなことを追求する重要性など多くのことを20回生に伝えてくれて、本当に有意義な時間となりました。

3日目は、「千本鳥居」で有名な伏見稲荷大社に行きました。鳥居が立ち並ぶ道を歩きながら、友人と記念撮影をしたり、お土産を購入したりして、楽しんでいました。

今回の修学旅行では、体調不良による離団等もなく、全員が無事に学校に戻ってくることができ、本当に良かったです。そして、たった3日間でしたが、学年全体で一つの楽しい思い出を作ることができました。保護者の皆様におかれましては、今回の修学旅行に向けて、いろいろな面でご支援していただき、本当にありがとうございました。

高校 台湾修学旅行

高校2学年主任 中尾 勘治

高校2年生はA団が12月14～17日、B団が15～18日の3泊4日で台湾へ修学旅行に行ってきました。以前の行先はベトナムでしたが、新型コロナで5年間は国内、そして昨年からは台湾になった2年目です。生徒たちは、台湾について調べ、現地の大学生との自主研修や高校生との学校交流会の内容を計画し、この修学旅行に臨みました。特に学校交流の相手校の歓迎ぶりには圧倒されてしまいましたが、みなさんのダンス、空手、ラジオ体操にはあちらの高校生も喜んでくれているようでした。All Englishでのやり取りをする中で、それぞれの生徒にとって貴重な学びがあったことと思います。他にも九份、中世記念堂、101展望台、故宮博物院、士林夜市では、目にするものすべてに驚きと感動があり、充実した修学旅行になったようです。

また、仲間を思う思いやりや周囲への配慮、集団における個々の役割の大切さなど、気づくことが多かったのではないのでしょうか。トラブルもいろいろとありましたが、終わってみればいい思い出になったことでしょう。私は改めて皆さんの明るく素直な人柄と豊かな感受性に感心させられました。旅行中に周囲からのクレームが全くなかったことも驚きです。

今回の修学旅行は、修学旅行委員さんを中心に内容だけでなくルール作りから議論しあい実施することができました。この修学旅行を終えひとまわり大きなものの見方ができるようになったはずですよ。ある意味「主体性」というものがわかってきたのではないのでしょうか。また、周囲の方々への感謝の気持ちをどう表現していくのかという点でも大きく成長してくれているものと信じるとともに、世界で活躍する皆さんの姿を思い浮かべ修学旅行の報告とします。



中高

1月前半の行事予定

		中学	高校
4	日		共通テストプレ(3)
5	月		共通テストプレ(3)
6	火		冬季補習(3)
7	水		冬季補習(3)
8	木	始業式 平常日課(木の①～⑤)	始業式 到達度テスト(1・2) 平常日課(3)(木の①～⑤)
9	金		
10	土	①②月の⑤⑥の授業 ③④大掃除 会場設営(※午後放課、部活動なし)	
11	日	県立中学校入試(※生徒登校禁止)	
12	月	成人の日(登校禁止)	
13	火	振替休日(1月10日分)	
14	水	登校禁止	平常日課 ⑥共通テスト出陣式(3)
15	木		
16	金	⑥⑦身体測定 英検1次	英検1次
17	土		大学入学共通テスト(国際大) 対外記述(1・2)
18	日		大学入学共通テスト(国際大) 対外記述(2)

中高

部活動等の成績

〈中学校〉

第69回日本学生科学賞長崎県審査

最優秀賞(中央審査出展)

第17回下村脩ジュニア科学賞

科学賞 本村 充(1-1)

優秀賞 前田 琥珀(2-1)

中学生の「税についての作文」

福岡国税局管内納税貯蓄組合連合会会長賞 山田 穂乃佳(1-3)

長崎県中学校総合体育大会 駅伝競走 男子 第3位・九州大会出場

内本 賢太郎(3-1) 古川 翔太(3-1) 末永 歩睦(3-3) 久保 晴都(2-1) 古川 泰雅(2-1)

宮崎 瑛隆(2-1) 湯浅 歩知(2-3) 湊 瑛太(1-1) 下山 蒼空(1-1)

【女子テニス部】令和7年度 長崎県中学校テニス競技新人大会 準優勝

下釜 絆愛(2-3) 丸山 紗希(2-1) 辻 美陽(2-1) 吉福 幹椰(2-2) 内野 来瑠望(2-3)

松永 陽菜子(2-3) 森宗 紗耶(1-1) 竹内 蒼(1-2) 山田 彩央里(1-2)

【陸上競技部】

長崎県中学校新人大会 女子共通 100mH

第3位 柿木 志帆(2-3)

令和7年度佐世保市教育委員会文化顕彰

文化奨励賞(個人・ピアノ) 久保川 結菜(2-2)

令和7年度心の輪を広げる体験作文コンクール

長崎県教育委員会教育長賞 内本 賢太朗(3-1)

〈高校〉

長崎県高校生英語ディベート大会 優勝(北辰賞) 西川 尚吾(2-1) 王 天童(2-2) 大浦 咲希(2-2)

☆全国大会出場

佐藤 めい(2-2) 山口 蕾登(2-2)

第34回 長崎県高等学校英語スピーチコンテスト

第一部 第1位(北辰賞) 長岡絆乃オーロラ(1-1)

☆九州大会出場

第二部 第1位(北辰賞) 川口 直毅(2-3)

第72回長崎県高等学校家庭クラブ研究・全国大会出場 最優秀賞(北辰賞)

太田 燈惟(2-1) 藤原 小桜(2-1) 相原 里咲(2-6)

令和7年度缶サットチャレンジin長崎

優勝(北辰賞) 宮本 葵(1-4)

第59回 弘法大師奉賛 高野山競書大会

特別賞 推薦 田中 陽菜乃(3-6)

特選 浦 優香(2-6)

準特選 佐藤 佳歩(3-6)

令和7年度 長崎県高等学校新人体育大会

【空手道部】

・男子団体組手

第2位

・男子団体形

第2位

・男子個人組手+76kg級

第3位 江口 大和(2-2)

・男子個人組手-55kg級

優勝(北辰賞) 上村 昇龍(2-5)

第2位 中里 洸太郎(2-5)

第3位 橘高 佑弥(1-2)

・男子個人形

第3位 田中 俄人(1-1)

・女子団体組手

第3位

【剣道部】

・男子団体

準優勝・九州大会出場

・女子団体

第3位・九州大会出場

【柔道部】

・57kg級	第3位 牟田 桜雪(1-5)
・(地区大会)女子団体	優勝
・(地区大会)女子個人-63kg級	優勝 三ツ井 環(2-3)
・(地区大会)女子個人-57kg級	優勝 牟田 桜雪(1-5)
・(地区大会)男子個人-66kg級	優勝 川口 直毅(2-3)
・(地区大会)男子個人-90kg級	優勝 清水 大晴(1-1)

【陸上競技部】

・男子3000mSC	第1位(北辰賞) 笹岡 真光(2-5)
・女子5000mW	第2位 大石 京朋(1-1)
	第3位 片山 実優(1-2)

秋季佐世保地区陸上競技記録会 女子4×400m

第1位

ロザノミッシェルジェーン(2-5) 田中 優唯奈(2-1) 木寺 麗(1-3) 大石 京朋(1-1)

令和7年度長崎県高等学校総合文化祭

・「放送部門」第47回九州高校放送コンテスト・長崎県大会 アナウンス部門

優秀賞・R7九州総文祭出場 田中 舞桜(2-1)

・「文芸部門」県文芸コンクール 俳句部門

優秀賞・R7九州総文祭出場 大村 明愛(2-6)

・「書道部門」第25回県総文祭揮毫大会

優秀賞・R8九州総文祭推薦 渡邊 真結(2-3)

優秀賞 森 耶哉子(2-3)

・「美術部門」第56回県高校美術展 絵画部門

優秀賞 狩集 百葉(3-1)

・「美術部門」第56回県高校美術展 デザイン部門

優秀賞・R8九州総文祭推薦 山本 芽依(2-4)

・「写真部門」高校写真展

最優秀賞(北辰賞)・R8全国総文祭推薦 淵上 真名(2-3)

優良賞 向山 響(2-1) 山川 芽依(2-2)

・「日本音楽部門」

銀賞 福田 真優(2-6)

第70回 記念県展 洋画部門

入選 溝越 理彩(2-6)

令和7年度 日本水産学会九州支部大会

優秀研究発表賞 金田 大雅(1-1)

白尾 陽菜(1-3)

令和7年度 第35回長崎県高等学校冬季室内水泳大会 男子100m バタフライ 第2位 松浦 陵太(2-4)

男子 50m 自由形 第3位 松浦 陵太(2-4)

男子100m 平泳ぎ 第3位 吉田 竜漸(1-1)